

授業科目名	リスクマネジメント	担当教員名	前田 三枝子			
期 間	前期	履 修 学 年	1	2	3	4
単位数・時間	2単位・30時間				●	
授 業 形 態	講義		●－必修・○－選択			
授業の概要 学習目標	<p>〔授業の概要〕 医療を展開するに当たり、対象の尊厳と生命を守る医療者としての責務を遂行するために、対象の安全と安寧を図る理念・知識・技術を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕 医療の理念と看護の責務を理解する。 看護職の法的責任を理解する。 医療事故・医療過誤の定義、現状、原因、予防策を理解する。 医療安全文化を形成する一員としての自覚と実践する意志を形成する。</p>					
授 業 回 数	授 業 の 内 容					
第 1 回	第1章 医療安全と看護の責務 医療安全推進の背景と経緯 医療並びに看護職の法的規定					
第 2 回	第2章 医療安全施策と社会的責任 医療安全に関する国の取り組み					
第 3 回	医療事故等の定義・分類 医療事故等の報告制度					
第 4 回	第3章 事故発生のメカニズムと防止策 ヒューマンエラーの原因とタイプ					
第 5 回	ヒューマンファクター工学から事故防止を考える 事故分析と事故対策					
第 6 回	第4章 医療機関における安全対策 組織のマネジメント 医療安全管理者の役割と活動					
第 7 回	第5章 看護における安全対策 看護業務と事故発生要因					
第 8 回	危険予知訓練（KYT）でリスク感受性を育てる 診療補助業務に伴う事故防止（注射、輸液ポンプ、輸血、内服薬、経管栄養、チューブ管理など）					
第 9 回	療養上の世話における事故防止（転倒・転落、誤嚥、熱傷、入浴介助など）					
第 10 回	第6章 医療事故後の対応 コンフリクト・マネージメント					
第 11 回	賠償責任保険制度					
第 12 回	第7章 看護学生の実習と安全					
第 13 回	まとめ					
成績評価の方法	小テスト、グループワーク参加度、課題レポート、講義出席状況、最終試験により総合的に評価する。					
テキスト	ナーシング・グラフィカ「医療安全」メディカ出版					
参考図書	学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術、医学書院 他					
履修上の留意点	医療事故関係の新聞報道等に着目。積極的にグループ討議に参加する。					